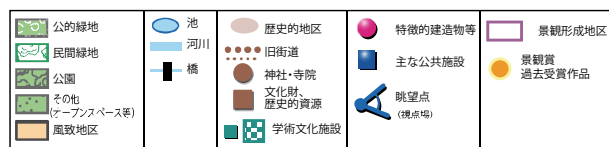
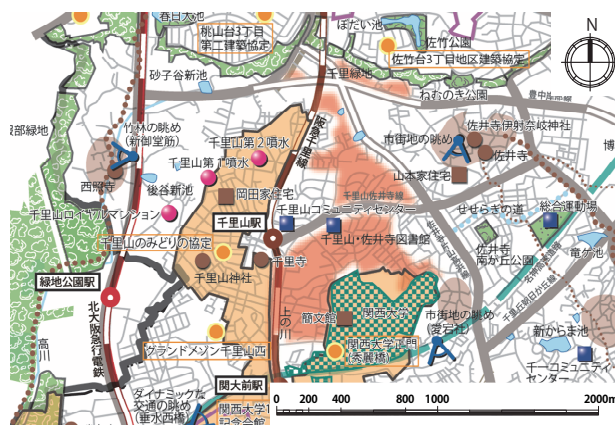
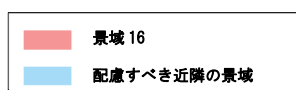
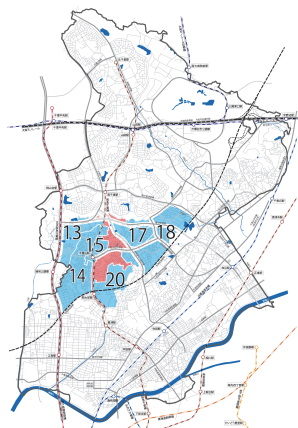


景域 16 千里山東界隈



※ 市環境会議の活動...市全城

入り組んだ道路で構成される戸建住宅を中心とする住宅地の景観

地形

丘陵に位置し、緩やかな傾斜のある地形となっています。

歴史

戦前は農地や樹林地が広がる丘陵地を形成していましたが、高度経済成長期以降に住宅地として開発されました。

土地利用

入り組んだ道路で構成された住宅地で、戸建住宅を中心とする土地利用となっています。一部には中低層の集合住宅の立地もみられ、千里山駅に近い幹線道路沿いでは、商業施設も立地しています。また平成 30 年（2018 年）に千里山佐井寺線が開通しており、無電柱化の取組がなされています。

都市活動・暮らし

庭木や生垣などの敷地内の緑が、潤いのあるまちなみを形成しており、地域住民の暮らしの営みを感じさせる景観が形成されています。



地形に起伏のある住宅地

敷地内や敷地の緑により、落ち着いたある住宅地景観をつくり、はぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 緑を保全し、身近な緑空間の拡大、育成に努める。
- 地域性への配慮や統一感をもたせた街路樹による緑化に努める。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 生垣や並木、屋根などの連続性や統一性をつくり、まもり、はぐくむ。
- 地形になじみ、周辺の住宅地の景観に調和する建物づくりに努める。
- 落ち着いた中にも地域の特徴や表情、活気を感じられる空間の創出を図る。
- 敷地に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 連続性や回遊性があり、にぎわいと楽しさを感じられる、駅前の景観づくりに努める。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
- 沿道施設と住宅地との調和を図る。
- 街路樹により潤いを高め、道路の舗装や街路灯などにより連続性や統一感を演出する。
- 沿道施設との一体整備やバリアフリーへの配慮など、安全で快適な歩行者空間の形成を図る。
- 夜は帰宅する人を出迎えるように、照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 地形の起伏を活かし、眺望景観の保全や形成を図る。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

配慮すべき近隣の景域

景域 13, 14, 15, 17, 18, 20, 45